



ICHITOKU

川越市立特別支援学校 学校だより

令和8年6月30日発行 第4号

学校教育目標『ひとりだちする生徒』

TEL049-222-2753 Fax049-229-1231

学びをつなぐ7月

校長 遠山 知子

The road to hitoridachi

6月は、それぞれの学年が学校の内外で多くの学びを重ねた1か月でした。2・3年生は現場実習を通して、仕事に取り組む姿勢やあいさつ、報告・連絡・相談の大切さなど、これまでに身につけてきた力を実社会で生かす貴重な経験ができました。実習を終えた生徒たちの表情には、自信とたくましさを感じられ、嬉しくなりました。

1年生も校外での学習に取り組み、4・5月に学校で積み重ねてきた学びを生かす姿が見られました。初めての経験にも前向きに挑戦し、大変立派でした。

7月は、3年生の修学旅行、2年生の宿泊学習、1年生の上野方面への校外学習と各学年で楽しい行事が予定されています。こうした行事は、楽しい思い出をつくることはもとより、仲間と協力することや時間を守ること、自分たちで考えて行動することなど、学校生活で身につけてきた力を発揮する絶好の機会です。6月の学びを7月へ、そして7月の学びをこれからの生活へ。一つ一つの経験を大切に積み重ねながら「学びをつなぐ」7月にしてほしいと願っています。引き続き、ご理解ご協力賜りますようお願い申し上げます。



今月の「ひとりだちへの道」

本年度の合言葉「ふやす・かためる・つなぐ」

6月は身につけた力を発揮する月でした。

現場実習に行った 2,3年生は、

心と体に学んだ力をかためる

特別日課の1年生は

4,5月の学習の力をかためる

今月の目標は「つなぐ」

7月は学んだことを次の活動につなぐ

仲間や出会った人と心をつなぐ月です。



枝をのばし、木々につながる



ササフラスの木(クスノキ科)
<花言葉> 「新たな始まり」
「祝福された旅」

そのための重点

あいさつ 新しい経験や発見をする
自分に自信を持って対話する